

八幡坂の歩み



長崎県立佐世保北中学校・高等学校

長崎県佐世保市八幡町6番31号

TEL 0956-22-4105/FAX 0956-22-5361

URL <http://www.news.ed.jp/sasebokita-h/>

第2号 令和5年6月20日発行

自分自身で見出す価値

高校副校長 中村康代



中総体・高総体が終わりました。輝く笑顔、歓声、ほとぼしる汗、あふれる涙…。私たちの心を動かしてくれた皆さんの姿。たくさん感動をありがとう。選手の皆さんはもちろん、指導して下さった皆さん、取材に奔走してくれた皆さん、熱い声援を送ってくれた皆さん、ずっとサポートして下さった保護者の皆さん、本当にお疲れ様でした。次は、夏の大会・コンクール・コンテスト・上位大会が近づいています。また、別の場面で、佐世保北生の輝く姿に触れられると思うと、とてもワクワクします。様々な分野で皆さんが個性を発揮し、活躍してくれることを期待しています！

さて、勝負というものには「結果」が付き物。勝者がいれば、必ず敗者がいます。コンクールやコンテストでも、賞や順位が付き、自分がどこかに位置づけられることになります。もちろん、多くの人が「優勝」「上位」を目指し、努力を重ねてきたはずですから、勝てば嬉しいし、思ったような結果が出なかった時には、落ち込んだり、これまでの時間や努力が無意味だったような気になったりしてしまうものです。もしかすると、今、そんな思いを抱いている人がいるかもしれません。

「これまでも言われたことがあるかな」と思いながらも、あえて、今、私が伝えたいこと。それは「結果がすべてではない」ということ、そして「すべての時間・経験に意味がある」ということです。人生の価値は、『他人から評価されること^{とら}で生まれる価値』と『自分自身で見出す価値』があるとされます。結果はあくまでも、他人から与えられるもの。それに囚われすぎず、そこに至るまでの過程に目を向け、「自分が力を尽くしてきた時間・経験そのもの」を自分自身で評価してあげてください。きっと何物にも代えられない価値が見つかるはずですよ。

もちろん、自分を振り返れば、反省すべき点に思い至ることもあります。ただ、そこで「ダメだー」となって終わるのではなく「ここがダメだったから、次はこうしよう！」と発想を切り替えられるようになると、次の成長につながるはず。「失敗は成功のもと」という言葉も、「失敗した…」で終わらず、気持ちを切り替えて「成功」にたどり着いた先輩達が大勢いるからこそ、誰もが知るフレーズとして定着しているのだと思います。前を向くには、発想を切り替え、物事をプラスに解釈するコツをつかむことがカギとなるようです。

では「物事をプラスに解釈する」ために必要なことは何でしょうか。私は、まず「主体性」を挙げたいと思います。最近、教育の分野でもしきりに必要が叫ばれている「主体性」。通常、「自分の意志によって、責任をもって行動する態度や性質」のように、行動力と結びつけられることが多いようです。しかし、この「主体性」は人の内面でも大きな働きをすると私は考えています。前向きに物事を解釈する…。言うのは簡単ですが、いつも前向きでいられるかということ、なかなかうまくいかないものです。先ほど書いたように、「ダメだー」と思うことがあっても、「前を向く！」と自分の意志で、自分の頭や心をコントロールするのは、主体性が身につけていないと難しいと思います。

また、次に挙げるのは「言葉の力」です。物事を前向きに解釈するには、「前向きな言葉」を自分のものにし、使えるようにならなくてはなりません。そのために、前向きな言葉に触れることが大切なのです。失敗した時やうまくいかない時、人はマイナスな言葉を口にしがちです。周りにいる人も、失敗を責めたり、残念だという気持ちを直接ぶつけてしまったりすることがあります。もちろん、叱咤激励が人をプラスに導くこともあります。しかし、厳しい言葉だけでは、自分を信じられなくなり、前を向けなくなってしまう可能性があるのも事実です。最近、よく「言葉がささる」といった表現を耳にしますが、この表現が象徴するように、言葉は私たちの感覚を刺激するもの。時として、安らぎや痛み、温かさや冷たさなど触感や温度など様々な感覚を呼び起こし、心に刻まれていきます。だからこそ、私たちは言葉を大切に扱わなくてはならないと思うのです。誰もが、言葉が呼び起こす感覚を意識し、相手にとってプラスに響く言葉を使っていけば、「前向きな言葉」が一人ひとりの中に積み重なります。そうすれば、自分自身を振り返る言葉もプラスの力を運び、自信をもって自らの経験に価値を見出すようになるのではないのでしょうか。

「自分自身で価値を見出す力」が身につけば、勉強の価値も違って来るかもしれません。成績の順位が出ますが、あくまでもそれは、学習定着度の確認するための目安です。大切なのは、その順位に一喜一憂することではなく、振り返り、次の行動へつなげること。〇番だった！の価値でなく、「わかることが増えた喜び」「新しいことを発見した喜び」など、順位の裏にある価値を見つけてほしいと思います。思わしくない結果であっても、悔しさを「わかるようになりたい」という望みに切り換え、行動を起こしてください。勉強は楽しいものの対極として捉えられがちですが、本来は「知らなかったことを知る」「できなかったことができるようになる」楽しく、ワクワクする経験であるはずですよ。

勉強も部活動も課外活動も学校外での活動も…全てがつながり合って、私たちが創っていきます。欲張りすぎると大変なこともあります。中学・高校時代は、多くの人や物事との出会いを通し、葛藤しながらも、自分を見つけ、育てていく時です。自分の限界を決めず、様々なことに挑戦し、自分自身で物事に価値を見出す力を、この佐世保北で蓄えてくれることを願っています。

高総体を終えて

保健体育科 中村岳博

4年ぶりの通常開催となった今年の県高総体。本校からは男子153名、女子118名、計271名の選手が参加しました。過去3年間、現3年生は様々な場面で多くの制限を受けてきました。そのような中で、高校生活最後の高総体が通常に開催されたことに感謝の気持ちを持って大会に臨むことが出来たのではないのでしょうか。上位大会への出場権を獲得した陸上部、水泳部、空手部の選手については、大会出場への感謝の気持ちを持ち頑張ってほしいと思います。

野球界の名将である故野村克也氏は、「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」という言葉を残しています。残念ながら今回の高総体で結果を残せなかった部、選手は何か足りなかったのかもしれませんが、それが何なのかを考えながら、新チームでの活動を頑張ってほしいと思います。

また、引退して受験に向かう3年生は、気持ちの切り替えが簡単にはいかないことがあるかと思いますが、しかし、受験においても「不思議の負け」はないのかもしれませんが、強い気持ちを持ち、しっかりと前を向いて頑張ってください。皆さんに関わる全ての人が応援しています。



市中体を終えて

中学校 保健体育科 塩塚 拓

今年度の佐世保市中学校体育大会は、6月10日（土）から6月12日（月）に陸上・球技・武道、そして6月16日（金）に水泳競技が行われました。特に今年度は、3年ぶりの総合開会式が総合グラウンドで実施され、本校からは、陸上部・空手道部・水泳・新体操の選手が開会式に参加し、学校の代表として堂々たる行進を披露しました。推定式では、どの部活動もこれまで支えていただいた全ての方への感謝の気持ちを述べ、最後まで全力で戦い抜く決意をもって試合に臨みました。大会当日は、各競技の個人戦や団体戦において熱戦を繰り広げ、快進撃を繰り広げました。最終日まで勝ち進んだ軟式野球部の試合には、約330名の生徒が会場に集い、熱い北辰魂が一つになって声援を送りました。

大会開催にあたって、これまで佐世保北中学校の部活動を支えて下さった全ての保護者の皆様、チームの応援者としてご尽力いただきました保護者の皆様につきましては、心より感謝申し上げます。今後も、佐世保北中学校の教育活動に変わらぬご支援とご協力を頂けますことを願っております。



スケッチ大会

美術科 桑野雅嗣

6月2日（木）に予定していた中学校スケッチ大会は、雨天のため延期し、6月5日（月）に実施しました。1年生は八幡神社、2年生は本校敷地内、3年生は佐世保公園（ニミツパーク横）を会場に、早めの梅雨入りした曇天の中でしたが、生徒たちは制作を楽しみながら、一人一人、思い思いの場所を一所懸命スケッチしている様子でした。1年生は事前に八幡神社に一度訪れ、制作場所をあらかじめ決めていたことから、制作もスムーズに進んでいたようでした。2年生は、校舎内外の様々な場所を、事前に学習した透視図法を用い、悪戦苦闘しながら描いていました。3年生は最後のスケッチ大会を、今までの集大成として、よい作品になるよう、集中して取り組んでいました。

校内審査については、昨年同様夏休み明けに実施します。夏休み期間を使って作品をしっかりと完成させてほしいと思います。完成した作品のうち、中学校職員による審査を行い、最優秀賞・優秀賞をはじめとして各賞を選出し、受賞作品は今年度の子ども県展に出品する予定です。



教育実習

高校総務 小田切俊幸

実習生の部活動への参加も再開するなど、コロナ禍以前に近い環境の中、5月22日（月）～6月9日（金）の期間、教育実習を行いました。教科指導、学級経営、生徒指導、部活動指導と、広範囲に及ぶ学校での教育活動に、それぞれ実習生は、緊張し戸惑いながらも母校での実習を意欲的かつ真摯な態度で取り組んでいました。

24年前の私がそうであったように、母校北高での実習を経て、教職への想いをさらに強く持ってくれたらと思います。生徒も先輩である実習生を温かく受け入れてくれました。教師になるという大きな志を立てて、その実現に向けて挑戦する実習生の真摯な態度から、その気迫と情熱が本校の現役生徒にも伝わりました。実習生にはこの経験を糧に、初心を忘れず、今後の人生に役立ててほしいと思います。生徒に成長を促し、生徒と感動を共有できる教師という仕事の魅力を忘れないでほしいです。



行事予定(6月下旬～7月)

| | | 中学 | 高校 |
|--------|----------------------------------|---------------------------------|--|
| 6月 | 21日(水) | 第2回考査 ※～23日(金)まで | |
| | 26日(月) | | 第2回考査※～30日(金)まで |
| | 28日(水) | | 振替休日(7/1分) |
| | 29日(木) | ⑦平和学習 | |
| 7月 | 1日(土) | | 木①～③授業、午後第1回オープンスクール |
| | 3日(月) | ⑦フォローアップ講座 | |
| | 4日(火) | | 野球部吐行式 |
| | 5日(水) | ⑥⑦校内弁論大会 | ⑦命の尊さを考える |
| | 6日(木) | 漢字テスト・授業参観・学年懇談会 | |
| | 7日(金) | クラスマッチ | |
| | 8日(土) | | 高1・2対外実力 高3対外模試～9日(日) |
| | 13日(木) | 中3研究所訪問 | |
| | 14日(金) | | 球技大会 |
| | 15日(土) | | 高3大学別模試 |
| | 16日(日) | | 高2県北難関大学習会 |
| | 17日(月祝) | | 海の日 |
| | 18日(火) | | 高1・2三者面談(～28日) |
| | 20日(木) | 1学期終了式・大掃除・吹奏楽部推戴式・体育祭ブロック別決起集会 | |
| | 21日(金) | 特別授業・全校集会・三者面談 | |
| | 22日(日) | 県中学校総合体育大会 ※～24日(月)まで | |
| | 24日(月) | 三者面談(～7月末まで) | 高1校外学習会 高2校内学習会・三者面談 ※26日(水)まで 高3特別授業・三者面談 |
| 26日(水) | 中2自然体験学習(松浦) 中3学習会 ※～28日(金)まで | | |
| 27日(木) | 中2自然体験学習(上五島) | 特別授業・三者面談 ※～28日(金)まで | |
| 31日(月) | | 高3校外学習会 | |